

【玉川地区】令和7年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時：令和7年7月8日(火) 午後6時55分～午後7時55分
会 場：玉川公民館 2階集会室
参加者：地区的自治会長(15名)、公民館地区館長
市長、副市長、教育長、企画部長、企画部次長、総合計画担当課長、公民館・地区市民センター長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 観光地としての様々な取組について	
<p>【馬場・滝・深田・原自治会】 ■玉川地区の七沢は、自然が豊かで、温泉やハイキングコースなどがあり、厚木市の中で観光資源が豊富な地区であると自負しています。市長が進めている、周辺自治体との「県央やまなみ協議会」での取組や、新東名高速道路の伊勢原大山インターチェンジの開通などの相乗効果で、休日の車の通行量が増えていると感じています。そこで、来訪者が気軽に休める「道の駅」などの簡単な買い物やこどもが遊べる場所を併設した施設の設置を提案します。</p> <p>周辺の環境整備も併せて必要だと感じています。現在、玉川沿いの土手の草が道路にはみ出していたり、太く成長してしまった堤防の木があつたりする状況です。このような状況は、観光地として景観的に良くないため、常に雑草が伸びていない状態にしてもらえるよう、河川管理者である県に要望してもらいたいと考えています。</p> <p>また、「県央やまなみ協議会」の今後の取組についても、お伺いします。快適で、住みたい七沢を目指し、今後は、移住者のことも意識したいと考えています。</p>	<p>■自然や温泉、グルメといった玉川地区の魅力ある観光資源をどう掘り起こして磨き上げていくかが大切だと考えています。玉川地区や市全体、県央やまなみエリアの魅力の生かし方を、市としてもスピード感をもって取り組んでいかなければなりません。</p> <p>道の駅を設置することは、ハードルが高い現状ですが、玉川地区には「青空と大地 七沢温泉 食の市」があり、「道の駅」になり得る施設であると認識しています。道の駅として必要な要素は様々ありますが、食の市だけでは足りない部分は、玉川地区の東丹沢七沢温泉郷も、一つの特色があるので、玉川地区全体を「道の駅」と捉え、市としても県央やまなみ協議会としても魅力の創出に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>市外や県外から多くの方々が玉川地区に来ている中で、きれいな道づくり・環境づくりは重要であると認識しています。</p> <p>また、玉川沿いの堤防道路の河川側法面の一部については、年間2回であつた除草作業を、年間3回に回数を増やして対応を図っていますが、至らない部分があるという御意見を受け止め、市外から観光に来た人に美しいと思ってもらえるよう環境づくりをしていきます。河川管理者である厚木土木事務所が所管となるところは、地域の皆様から寄せられた御意見を、県にお伝えします。</p> <p>《実施日以降の対応状況等》 ■県所管部分について、河川下水道総務課より要望内容を伝達したところ、「樹木伐採等の具体的な場所や事情を御相談ください」との回答を得ています。 玉川沿いの堤防道路の除草については、年間3回の除草作業を実施中であり、来年度以降も引き続き3回実施する予定です。</p> <p>(担当課：行政経営課、商業観光課、農業政策課、河川下水道総務課、道路総務課国県道調整担当、道路維持課)</p>
意見2 高齢者への支援について	
<p>【大沢・横畠・足ヶ久保自治会】 ■玉川地区は、市内でも高齢化率が高く、若者が少ないため、高齢者の一人世帯や高齢者のみの世帯が多い地区となっています。また、大半を山地が占めているため、坂道や狭い道路が多く、足腰が強くない高齢者にとっては、ごみ出しや食料品等の買い出しに、苦慮している状況があります。</p> <p>現在、かなちゃん手形の購入助成や高齢者タクシー利用助成券の交付等の外出支援事業が実施されていることは、高齢者の健康増進や生きがいづくりにつながっているものと認識しています。</p> <p>今後についても、更なる高齢化が進展する中で、地域の実情を踏まえ、高齢者が安心して生活できる福祉サービスの取組の検討をお願いします。</p>	<p>■高齢化が進むこの地域において、一人一人に寄り添いながら目を向けることが大切だと考えています。</p> <p>市としても、ごみ出しや買い物の状況改善に向けて取り組んでおり、「愛の一聲ごみ収集事業」として、ごみ出しが困難と判断される身体状況にあると認められる世帯について、玄関先などに出されたごみを収集する事業を実施しています。こういった取組を皆さんに知っていただき、ごみ出しにおいても安心してもらえるよう取り組んでいきます。</p> <p>また、高齢者の皆様の外出機会の増大や生きがいづくりの支援として、かなちゃん手形の購入費助成や高齢者タクシー助成などの移動支援を行っています。かなちゃん手形については、神奈川中央交通が企画販売していましたが、来年度から制度が変わりますので、高齢者の皆様の外出機会が奪われることのないよう、新たな支援について検討をしているところです。</p> <p>高齢者一人一人が「自分らしい暮らし」を送れるよう、多方面から総合的な支援策を展開していきます。病院や老人福祉施設、地域包括支援センターなどの施設とも連携し、地域福祉の強化を図っていきます。引き続き、皆様の御意見を伺いながら、更なる改善と充実に努めていきます。</p> <p>(担当課：地域包括ケア推進課、福祉総合支援課、農業政策課、環境事業課)</p>
意見3 土砂災害の防災対策について	
<p>【岡津古久自治会】 ■昨年の台風10号の影響による大雨で、岡津古久地区では10件の土砂崩れが発生しました。幸い、命に係わることはありませんでしたが、家屋への一部被害や道路の寸断などがありました。市長をはじめとした担当の方々には災害の現場を見た上で、対応いただき、感謝しています。玉川地区は、ふるさとの原風景が残り、豊かな自然環境と共生した集落地です。今後は、想像を超える大雨や台風が発生する可能性があり、土砂災害の危険性は高いものと考えます。</p> <p>そこで、土砂災害から身を守る方法や市で取り組んでいる土砂災害対策があればお聞かせください。</p>	<p>■昨年の台風10号の際は、岡津古久地区では幸いにも命に関わる被害はありませんでしたが、災害は今後も発生します。備えをすることで、減災は可能であり、皆様の安心・安全を守ることができます。</p> <p>本日配布した、防災ポケットブックは全戸配布しているのですが、御覧いただき、災害に備えていただきたいと思っています。特に、以下の4点については、熟読いただきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none">・土砂災害から身を守るための行動(P15)・事前の準備としてマイタイムラインの作成(P32)・情報収集・伝達手段 <p>特に台風等の防災行政無線が聞こえない時は市公式LINEで情報収集が可能(P28)</p> <ul style="list-style-type: none">・適切な避難のタイミング 早めの行動を(P24) <p>災害時におけるトイレも自助として一人一人が自身で準備しておくことで、対応ができると思います。</p> <p>市としても、取組を情報発信し、強化していくことにより市民を災害から守り抜くまちの実現を目指していきます。まずは、防災ポケットブックを読んでいただき、家族とも情報共有をしていただければと思います。また、市においても、土砂災害警戒区域等のパトロールを強化するとともに、継続して土砂崩れがあった箇所を見守っていきます。</p> <p>(担当課：危機管理課)</p>